

# 西神中央ホール 和楽器ユニット「おとぎ」コンサート

## 【演目紹介】

2025年(令和7年)4月26日

### 一. 「<sup>おぼろつきよ</sup>朧月夜」 作曲:岡野貞一 / 編曲:木場大輔

言わずと知れた童謡の名曲を、和楽器ならではのアンサンブルでお聴き下さい。  
尺八と十七絃箏のやわらかい音色が、一面の菜の花と月夜の風情を醸し出します。

### 二. 「<sup>おいわけ</sup>リンゴ追分」 作曲:米山正夫 / 編曲:木場大輔

美空ひばりの歌で知られる名曲を、津軽三味線の雰囲気を取り入れて軽快にアレンジしました。  
ひと味違うリンゴ追分をお楽しみ下さい。

### 三. 「<sup>えっちゅう</sup>風の夢」～越中おわら幻想～ 富山県民謡 / 編曲:木場大輔

胡弓が使われる最も有名な祭り、越中八尾「おわら風の盆」。  
その風の盆で演奏される「越中おわら節」をモチーフにした、幻想的な趣きのアレンジ曲です。  
(CD『音戯紀行』に収録)

### 四. 「<sup>りっどう</sup>四人の律動」 作曲:木場大輔

2016年初演のオリジナル曲を、2024年に大幅改作。同年7月開催の、おとぎ結成20周年記念コンサートで発表しました。

無機質で機械的なビートを刻み、その反復の中でハーモニーやポリリズムの掛合いなどが次第に展開し、四つの異なる音色の和楽器の個性が浮き彫りになる。  
ミニマルミュージックやロックの影響を受けた作品といえる。(木場大輔)

### 五. 「シルクロード組曲 第一番」～月と大地の記憶～ 作曲:木場大輔

I 都大路 II 草原を駆ける III 駱駝と月 IV 高原の旋舞 V オアシスの輝き VI 新たな旅へ

和楽器のルーツとしても縁深いシルクロード。民族や文化の十字路の様々なイメージを盛り込んだ組曲で、おとぎ結成当初から演奏してきた代表的レパートリーの一つです。  
さあ皆さま、おとぎと共に音楽旅行に出かけましょう！(CD『音戯紀行』に収録)

## 《 休 憩 》

### 六. 語りと和楽器による音楽劇『<sup>さくらとうげ</sup>桜峠』

月の夜 老桜と胡弓弾きの源さんの魂が語り合う 美しくも哀しい物語・・・

原作:古木信子 / 脚本・演奏:おとぎ / メインテーマ作曲:木場大輔

朗読:安田知博 / 琵琶歌・語り:川村旭芳

【原作者 古木信子氏より】

『桜峠』が生まれたきっかけは、富山県八尾の「風の盆」でした。胡弓の音を耳に残したまま、翌日はバスで奥飛騨へ向かいましたが、干上がったダム湖の縁に、沈んだ村の石段の跡がくっきりと見えました。そして道端には柵で囲まれた桜の老木、村人の希望で残されたとか聞きました。

『桜峠』は、桜の木と、湖底で妻を待つ胡弓弾きの源さんの魂が、月夜に語り合う物語です。縁あって「おとぎ」に渡っていた原作が、和楽器と朗読のプロたちによって、美しく哀しい音楽劇になりました。

◆2013年(平成25年)3月 熊本県山鹿市「八千代座」にて初演